

都市再生整備計画(第6回変更)

む な か た し け い か ん
宗像市景観まちづくり地区

福岡県 む な か た し
宗像市

令和5年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	宗像市	地区名	宗像市景観まちづくり地区	面積	1,945 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度				

目標

大目標：世界遺産構成資産を中心とした歴史・観光資源の振興と周囲の景観との調和を図り、賑わいのあるまちづくりを目指す。

目標1：歴史・文化遺産などの観光資源と海や山、河川等の自然景観の活用と観光ネットワークの構築

目標2：海の道むなかた館やむなかた物産館等の文化・観光拠点の充実

目標3：世界遺産緩衝地帯を中心に市民や観光客が安心して生活、観光できる環境の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 住宅都市として発展してきた宗像市と、自然環境や歴史・文化遺産を守り続けてきた玄海町と大島村が文化を携えて合併し、自然環境や豊富な歴史資源、充実した文化・スポーツ施設、漁業や農業、離島など多彩な観光資源に恵まれている。
- 東西に北九州市や福岡市という100万都市を抱えるなど地理的条件に恵まれている中で、観光産業の活性化や雇用拡大に結びついていない。
- バスや電車などを活用して行ける観光施設やスポーツ施設が少ない。
- 市全体を回遊できるネットワークが形成されていないため、市内での滞在時間が少ない。
- 観光地までたどりつく道路が整備されていない。
- 市全域を景観計画区域に指定する景観計画や屋外広告物条例の施行を行い、良好な景観の形成を目的とした景観施策を実施。
- 歴史的風致維持向上計画の策定に取り組む。(平成30年3月認定予定)
- 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録される。

課題

- ・海・山・魚・歴史などの観光資源があり、これを生かした観光産業の振興によって、観光関連の就業者の増加を図る必要がある。
- ・最寄り駅である東郷駅や宗像大社、むなかた物産館を結ぶ観光ルートを確立するため、観光道路や公共交通機関のなどの充実が必要である。
- ・世界文化遺産登録もあって、観光スポットの駐車場、トイレ、休憩所などの整備を行い、受入体制を整える必要がある。
- ・多くの人が集まり、にぎわいを持たせるため文化・スポーツ施設の整備が必要である。
- ・景観重点区域を中心とした良好な景観を発信し、観光の振興に繋げる必要がある。
- ・むなかた物産館や宗像大社辺津宮、中津宮の観光拠点を周遊するルートの整備が必要である。
- ・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録されたことにより、歴史観光資源の啓発を行う必要がある。
- ・平成30年3月認定予定である歴史的風致維持向上計画の策定に取り組み、歴史的風致と景観を観光に結び付ける取り組みを進める必要がある。

将来ビジョン(中長期)

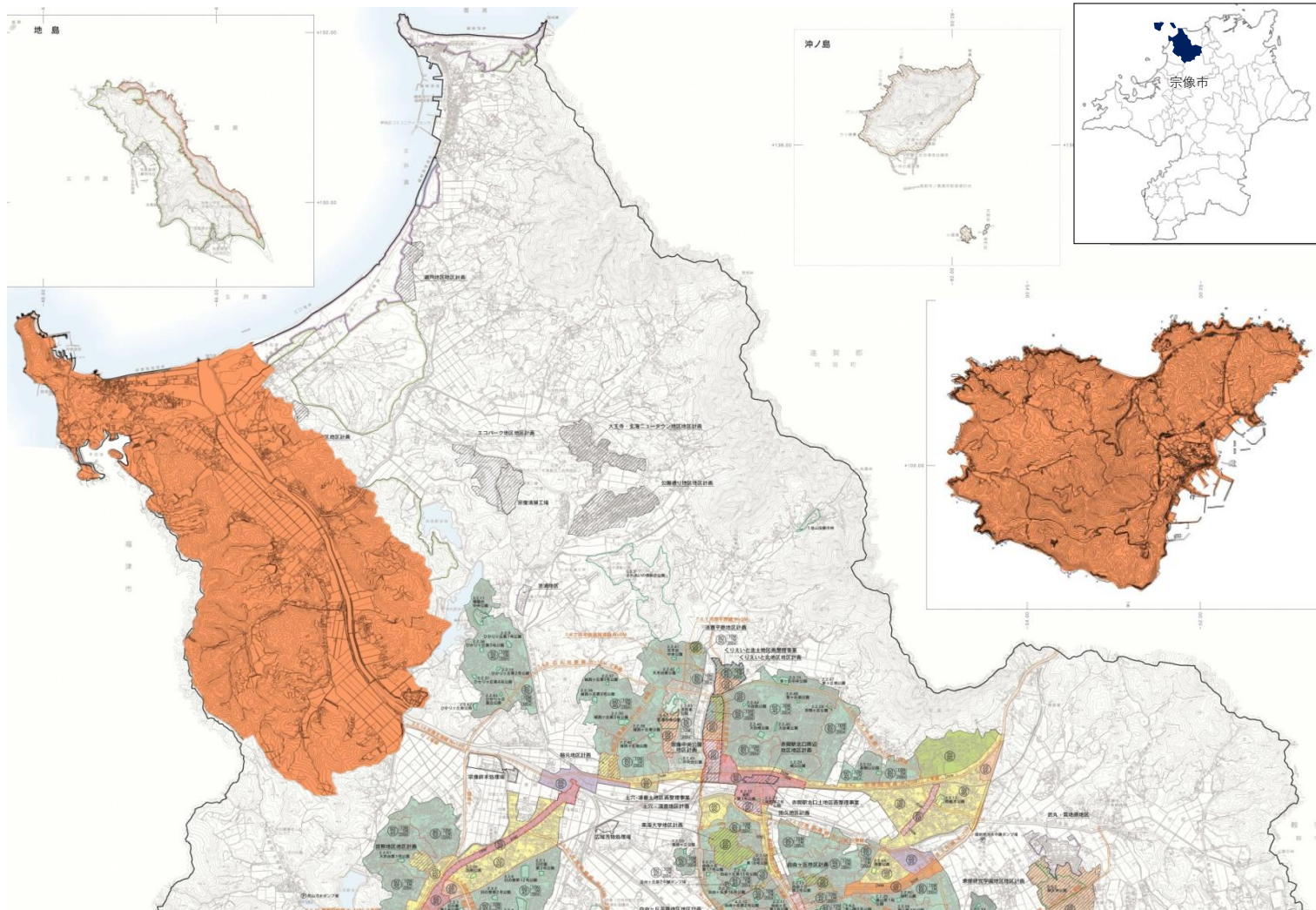
- ・むなかた物産館を観光の拠点として位置づけ、情報の発信、人の交流、地域連携を推進し、観光客の回遊性を高めます。
- ・宗像大社、海の道むなかた館を中心として歴史資源を生かした体験施設の整備を推進します。
- ・大島・地島の離島での観光産業の活性化を推進します。
- ・宗像大社辺津宮、中津宮周辺の景観整備を推進します。
- ・景観に配慮した道路美装の整備を進めます。
- ・歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画に基づき、世界遺産のあるまちにふさわしい風光と風格にあふれるまちを目指します。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
むなかた物産館観光入込客数	千人/年	むなかた物産館へ観光で訪れている人の年間人数	文化・観光拠点の整備を充実させ、周囲のインフラ整備と合わせ観光客の増加を図るとともに観光ネットワークの構築を図る。	1,729	H29	1,750	R4年度
世界文化遺産登録「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について関心がある市民の割合	%	市民アンケートによる世界文化遺産登録「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について関心がある市民の割合	世界遺産構成資産に関する整備を進めることで、観光客の増加を図る。	68	H29	72	R4年度
調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合	%	市民アンケートによる調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合	良好な景観を形成する施策を進めることで、利便性の向上と観光客の増加を図る。	14	H29	23	R4年度
大島行き渡船乗降者数	千人/年	大島へ訪れている人の年間人数	大島島内の景観整備及び環境整備を進めることで、利便性の向上と観光客の増加を図る。	167.0	H29	167.5	R4年度

都市再生整備計画の区域

宗像市景観まちづくり地区（福岡県宗像市）	面積	1,945 ha	区域	大島、地島、鐘崎、上八、神湊、牟田尻、深田、江口、吉田、池田、田島、多禮
----------------------	----	----------	----	--------------------------------------



凡例

都市再生整備計画区域

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	R元	R2	R3	R4
配分額	47.2	11.4	6.2	2.4	1.8
計画別流用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額	47.2	11.4	6.2	2.4	1.8
前年度からの繰越額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支払済額	47.2	11.4	6.2	2.4	1.8
翌年度繰越額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち未契約繰越額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不用額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:宗像市景観まちづくり地区都市再生整備計画

事業主体名:宗像市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○